

平成30年度市政懇談会会議録

開催日時：平成30年5月7日（月） 午後6時00分～午後6時50分

開催場所：市民プラザ ホール

参加者：206人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

池田総務部長、千吉良企画部長、大澤財政部長、新井市民部長、小保方環境部長、
町田健康推進部長、須永福祉こども部長、栗田長寿社会部長、出崎経済部長、
笠原建設部長、六本木都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、
大澤消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、斉藤会計管理者、下城議会事務局長、
光山監査委員事務局長、村井教育部長

1 開 会 司会進行（企画調整課長）

2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介

3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は、夜分大変お疲れのところ、また、足元の悪い中ですが、大勢の皆様にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

この市政懇談会ではありますが、年度の初めに本年度どのようなことを重点に政策を進めていくかをご報告させていただき、その後、皆様からご意見等を伺わせていただいて、より良い市政を進めていこうというものであります。

限られた時間のため、早速ではありますが、スクリーンをご覧くださいながら説明をさせていただきますと思いますので、よろしく願いいたします。

4 重点政策の概要

- (1) 平成30年度重点政策について <市長説明>
- (2) 質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

◆大雨時の道路冠水について

【質問】

2点ほど関連がある事項について伺います。10年ほど前、大雨が降った際に、下蓮町の通学路が冠水した箇所がありました。その際、市に連絡し、現場を確認してもらい、いずれは道路をもっと高くする等の対策を考えていきたいとのことでしたが、その後、その場所について何か進展はあるのでしょうか。

また、その通学路には、電信柱もなく、街灯も1つもないため、冬は暗くなってしまい危険に感じています。通学路でもありますので、街灯の整備をお願いしたいということ、その2点についてお聞きします。よろしく願いいたします。

【回答】（建設部長）

ただいまご質問ありました、下蓮町地内の浸水ですが、現場調査を行いました、まだ具体的には進んでいないというのが実情のようでございます。今日のお話を受けまして、再度現場調査等を進めていきたいと考えております。

（質問者）

10年くらい経過していますので、道路冠水対策が不可能であれば、通学路の街灯だけでもお願いできればと思います。

【回答】（総務部長）

通学路の街灯について、お答えいたします。通学路の街灯については、毎年この時期に各区長さんに、要望箇所を挙げていただいております。基本的には町内で3件程度設置しており、状況によりもう少し設置することは出来る状況でございます。

まず、区長さんを通じて要望箇所を挙げていただき、担当職員が現地確認を行ったうえで設置条件に合っているかを確認させていただき、対処しております。

また、防犯灯を設置する条件でございますが、通学路または地域の主要道路に面していること、概ね50m間隔は必要ということ、電信柱も必要であることなどをクリアすることが前提となっておりますので、その辺の条件なども確認させていただくことになります。

その後の対応状況

5月9日（水）に下蓮町区長と現地確認を行い、周辺には電柱がないため、ポールを建て防犯灯を設置することになる旨説明しました。

5月19日付で下蓮町区長から防犯灯設置要望調査報告書が提出されました。要望は6箇所あり、うち3箇所が今回の該当する箇所でありましたが、市全体の要望数や予算などの状況を考慮し、設置することとなります。

（質問者）

先ほどの冠水の件については進展があった場合は、報告いただけるのでしょうか。

【回答】（建設部長）

先ほどの冠水の関係ですけれども、再度細かい部分も含めて確認をさせていただき、速やかに区長さんに連絡をさせていただきたいと考えております。

その後の対応状況

下蓮町地内の道路冠水（市道（伊）9-134号線）については、5月8日（火）に質問者ご本人及び下蓮町区長と現場立ち合いを行い、該当箇所の確認をしました。

その後、現地調査を行い、結果を区長に報告しました。

◆開発許可について

【質問】

質問の内容は、市政と今後の対応についてということですが、市長さんの考え方については先ほどの挨拶にもありましたが、1月17日の上毛新聞でも、元気なまちいせさきという見出しで、すべての市民が夢と希望を持って暮らせる、誰もが住んでみたい、

住んでよかったとっていただける元気で豊かなまちを築いていきたいと言われていますが、私もこの考えには同感で、大賛成です。伊勢崎市も平成の合併によって20万都市に仲間入りした訳ですが、2045年の人口推計では、極端に少子化が進んで、18万に落ちるとい調査結果も発表されております。伊勢崎は減少率-9.7%、太田は-9.0%でこれが減少率としては一番良いほうで、伊勢崎は2番目に減少率が少ないということで、非常に良い都市だと私は思っています。

そこで、私ごとで大変恐縮ではございますが、私の自分の土地を利用して、子供がいるまち、子供の声が聞こえるまち作りということで同志と2人で取り組み、平成20年から現在まで11年目に入りましたが、10年間で3戸しか家が建たず、進展しないため、何度も断念しようとも思いました。昨年の10月5日、市が不動産鑑定士協会による相談会を開いてくれましたので、相談に伺いました。その結果、敷地延長部分に問題があったようなので、この部分を事業者負担として、また環境的リスク部分を考えて価格を大幅に下げたところ、悪条件にも関わらず、欲しいという希望が殺到してきました。

その後、今後の方針を建築指導課に相談に行きましたが、今までの10年間聞いたこともない1年に2区画やったあとは1年休むという基準を付け加えられました。

(企画調整課長)

恐れ入りますが、ご質問の趣旨を簡潔にお願いします。

(質問者)

この基準というのは、高崎、前橋等の業者に確認したところ、伊勢崎市特有のものであり、一般住宅用の基準にはなく、全部売り止めの状態になっております。12月には相当の時間を掛けて建築指導課と話し合いましたが、今の状態では平成32年の5月ないし6月頃までは申請が出来ないような状態になっており、非常に困っております。そこで市長にお願いしたいのですが、基準の不合理的な点や状況を判断して対応していただきたくお願い申し上げます。

【回答】(市長)

今のご質問でございますけども、前段の人口が減らないまちづくり、これは一生懸命進めていきたいと考えております。

ただ、ご質問いただいた後段の土地の開発の関係は、本市もしっかりとした基準がございますので、その基準に適合しないと開発の許可は出来ないと考えております。

(質問者)

まだ、質問が続いているのですが。

(企画調整課長)

恐れ入りますが、時間の関係もございますので、簡潔にお願いします。

(質問者)

他の方に申し訳ないと思っておりますので、あとで市長さんにゆっくり話を聞かせてもらいたいと思っております。

【回答】(市長)

再度のお返事になって恐縮ですが、私も建築士ではありませんので、建築基準法、あるいは開発の関係、そういった細部まで規則を承知している訳ではございません。一番詳しいのは担当者でございますので、もし必要がありましたら、担当課へお尋ねいただ

ければと思います。

(質問者)

会っていただく時間等ももらえないですか。

【回答】(市長)

先ほどご説明したとおり、お話をお伺いさせていただいても私からははっきりとしたお返事が出来ません。規則がありますので、その規則に従わなければ開発は出来ません。

【回答】(建設部長)

この件については、かなりの年数をかけて担当課と相談しているということを逐次報告を受けております。先ほど、市長が言われましたように、土地などといった、個人の権利に関わるもの、利権関係に繋がるようなものについては特に基準に則った形での運用を心がけなければならないと考えています。

これまでに、窓口にお越しいただいた際に、担当者から時間を掛けて説明させていただいているということを聞いております。市としては、あくまでも基準に沿う内容での運用が欠かせないと考えておりますので、必要があればご相談をしていただければと思います。

(質問者)

相談の場を作ってくれますか。

(企画調整課長)

また、この場でお話は出来ないかと思っておりますので、後日ご相談等お願いしたいと思います。

◇閉会あいさつ(市長)

夜分で本当にお疲れの中、また、足元の悪い中でしたが、大勢の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

本年度においても皆様のご指導やご指摘をいただきながら、しっかり元気な伊勢崎を目指してまいりたいと思っております。どうぞ今後とも皆様のご支援、ご協力を心からお願いを申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

5 閉 会 (企画調整課長)